

新規・継続等	新規	分野	砂防施設整備		事業番号	事業名	砂防(通常砂防)				
市町村名	佐久市		ふりがな 箇所名	ところ 所 沢	にが みず 水	事業年度 (完了年度は見込み)	H23 年度 ~		H28 年度		
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	砂防堰堤工 7基 砂防堰堤 H=4.5 ~ 8.5m L=16 ~ 62m				H22年度事業進捗率		0.0 %			
	H23年度以降実施内容	同上				本工事費等ベース		0.0 %			
	H23年度実施内容	測量・設計・調査 1式				用地補償費ベース		0.0 %			
	年度	全体事業費	H21年度まで	H22年度	H23年度	H23年度以降					
	事業費計(千円)	400,000	0	0	15,000	400,000					
財源内訳	国庫支出金	200,000	0	0	10,000	200,000					
	その他										
	県債	180,000	0	0	4,000	180,000					
	一般財源	20,000	0	0	1,000	20,000					
箇所評価	観点	評価項目・指標等	評 価			部 ランク	政策評価課 評点	部 ランク	政策評価課 評点		
	必要性 (20)	保全対象人家	10戸以上	1~9戸	0戸	A	10	A	10		
		保全対象公共施設	2箇所以上	1箇所	なし		6		6		
		保全対象に弱者施設があるか	重要施設有り	一般施設有り	なし		0		0		
		保全対象に避難所、避難経路があるか	あり	なし			1		1		
		小 計							17		17
	重要性 (15)	過去の災害履歴	過去20年に1回以上	災害履歴地	なし	A	5	A	5		
		交通遮断による地域経済などへの影響	大	中	小		5		5		
		防災計画上の位置づけ	あり	なし			5		5		
		小 計							15		15
	効率性 (20)	費用対効果(B/C)	B/C1.5以上	B/C1.0以上1.5未満	B/C1.0未満	A	15	A	15		
		早期発現度	5年未満	5年以上10年未満	10年以上		3		3		
		流域の総合調整(関連事業の有無を含む)	検討あり	検討なし			1		1		
		小 計							19		19
	緊急性 (25)	地質・地形の状況	地質が脆弱かつ地すべり地形	地質が脆弱	その他	A	5	A	5		
		植生の状況	無林地や倒木が多い	放置林	その他		4		4		
		平均渓床勾配	10度以上	2度以上10度未満	2度未満		5		5		
		土砂整備率	0%	0%より大50%未満	50%以上		7		7		
		小 計							21		21
	計画 熟度 (20)	地域からの要望	地域住民活動強い	市町村要望有り	特に要望ない	B	6	B	6		
		事業情報の共有	関係者以外にも周知	関係者中心に周知	特に周知していない		3		3		
		住民参加の状況	住民が直接参加	住民市町村意見を反映	住民意見反映していない		4		4		
		小 計							13		13
	費用対効果(B/C)		11.67			評 価 の 合 計		A	85	A	85
	事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	H19年9月の台風により山腹の荒廃が進んだことにより、渓流内には不安定な堆積物と、倒木が多く降雨による土砂流出の危険性が高い。渓流沿いは分譲地としての開発され保全人家も多い。保全対象の国道254号は緊急輸送路として重要な路線に位置付けられている。								
地域からの要望経緯		H22.1月に地元要望、H22.4月に市役所より対策事業の要望、更にH22.6月に再度地元より要望あり。									
事業説明等の経緯		平成22年6月に市役所及び地区代表に対して、事業説明を実施。									
環境・景観への配慮項目		極力周辺環境に負荷を与えないような構造物設計、工事施工とする。									
他事業・プロジェクトとの関連		下流護岸整備を佐久市事業と連携して行う。									
特記事項	特になし。										
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他						
部意見	当流域には、不安定な渓床堆積物と多くの倒木が存在しており、次期降雨による、土砂と流木の流出と保全対象への被害が懸念される。保全対象には人家70戸、国道254号が含まれており、速やかな土砂災害対策が必要である。				政策評価課 意見	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。					